

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-183343

(43)Date of publication of application : 16.07.1996

(51)Int.Cl.

B60J 5/04

B60R 13/02

B60R 21/04

(21)Application number : 06-340330

(71)Applicant : TOKYO SEAT KK

(22)Date of filing : 28.12.1994

(72)Inventor : KUBOTA NORIO

(54) CAR INTERIOR LINING CAPABLE OF RELAXING SIDE COLLISION LOAD

(57)Abstract:

PURPOSE: To surely fix an arm rest part made easily buildable in a lining main unit while attaining a countermeasure of relaxing a side collision load without providing such fragile parts as a thin part, notch, etc., by forming the arm rest part in a separate unit from the lining main unit.

CONSTITUTION: A hook stopper pawl 10 is engaged with a stop hole 22a of a rise up flange part 21 in a pawl point, further to insert a protrusive piece 11 of protruding dimension longer than the hook stopper pawl 10 into a socket part 23 of slide movably supporting in a point end side. Further, an opening end side periphery of an arm rest part 1 is positioned in an opening port of a lining main unit, and the arm rest part 1 is fixedly mounted to be engaged, so that it can be sunk inward from an opening port 20 by a side collision load, with the lining main unit 2.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 28.12.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

[Kind of final disposal of application other than
the examiner's decision of rejection or
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3516181

[Date of registration] 30.01.2004

[Number of appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

REST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 8-183343

(43) 公開日 平成8年(1996)7月16日

(51) Int. Cl. °

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 6 0 J 5/04

B 6 0 R 13/02

21/04

B

F

B 6 0 J 5/04

F

審査請求 未請求 請求項の数 3

F D

(全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-340330

(22) 出願日 平成6年(1994)12月28日

(71) 出願人 000220066

東京シート株式会社

埼玉県朝霞市栄町3丁目7番27号

(72) 発明者 窪田 紀夫

栃木県塩谷郡高根沢町大字太田字治部沢1

18-1東京シート株式会社技術センター内

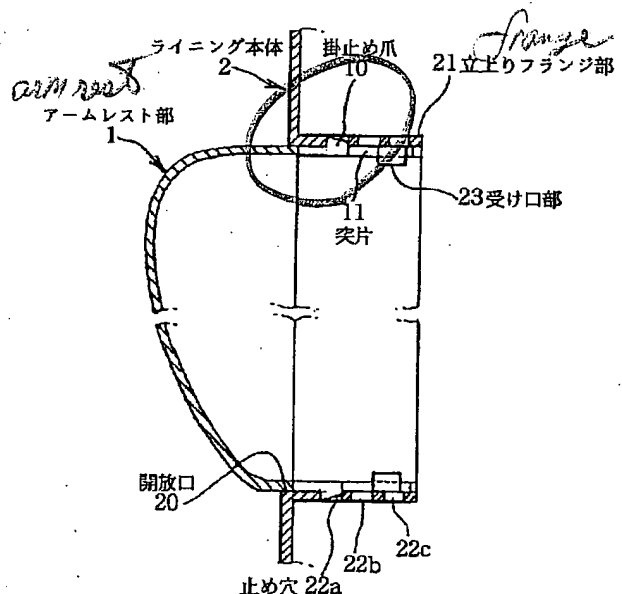
(74) 代理人 弁理士 竹下 和夫

(54) 【発明の名称】 側突荷重緩和可能な車内装用ライニング

(57) 【要約】

【目的】 アームレスト部をライニング本体と別体に形成し、薄肉部や切り込み等による脆弱部を設けずに側突荷重の緩和対策を図ると共に、アームレスト部をライニング本体に容易に組み付け得て確実に固定する。

【構成】 掛止め爪 10 を爪先で立上りフランジ部 21 の止め穴 22a に係合し、且つ、掛止め爪 10 よりも突出寸法の長い突片 11 を先端側でスライド移動可能に支持する受け口部 23 に差し込み、更に、アームレスト部 1 の開放端側外周をライニング本体の開放口 20 内に位置し、アームレスト部 1 を側突荷重で開放口 20 より内方に没入可能にライニング本体 2 に係着固定する。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 車内装用ライニングのライニング本体と横断面略C字状に膨出するアームレスト部とを夫々別体に形成し、

アームレスト部には開放端より延長させて掛止め爪と、該掛止め爪よりも突出寸法の長い突片とを組に複数組間隔を隔て設け、ライニング本体にはアームレスト部の開放縁側外周形状と相応形状の開放口を板面に設け、その開放口の口縁よりライニング本体の内方に向けて立上りフランジ部を設けると共に、この立上りフランジ部の板

面には掛止め爪の止め穴と、該止め穴よりも奥側に位置する突片の受け口部とを組にアームレスト部の掛止め爪、突片と同数組設け、
上記掛止め爪を爪先で立上りフランジ部の止め穴に係合し、且つ、突片を先端側でスライド移動可能に支持する受け口部に差し込み、更に、開放端縁をライニング本体の開放口内に位置させてアームレスト部を側突荷重で該開放口より内方に没入可能にライニング本体に係着固定したことを特徴とする側突荷重緩和可能な車内装用ライニング。

【請求項2】 上記突片、受け口部を掛止め爪、止め穴の両側位置に夫々設けたことを特徴とする請求項1記載の側突荷重緩和可能な車内装用ライニング。

【請求項3】 上記止め穴を立上りフランジ部の突出方向前後に並べて複数個設けると共に、上記受け口部を少なくとも前側の止め穴よりも奥側に開口位置したことを特徴とする請求項1または2記載の側突荷重緩和可能な車内装用ライニング。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、アームレストの取付構造から側突荷重の緩和対策を図るべく改良した車内装用ライニングに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、ドアライニングまたはサイドライニングを含む車内装用ライニングにおいては図6で示すように横断面略C字状に膨出するアームレスト部Aがライニング本体Rの板面前後方向に横長状に一体に形成されている。このアームレスト部Aは側突荷重の緩和対策からすると、乗員の荷重に対抗可能な剛直体として形成するのは好ましくない。

【0003】 その側突荷重の緩和対策を図るには、アームレスト部の所定な面積領域を薄肉に形成し或いはV字状の切り込みをアームレスト部の内面側に設けることが考えられる。この薄肉部や切り込みはアームレスト部を側突荷重で撓み変形または形状崩れさせる脆弱部として作用することから、側突荷重を緩和するようアームレストの剛性を調整することができる。然し、それでは側突荷重の緩和対策は図れても、肘突き等による割れがアームレスト部に発生し易く、車内装用ライニングとして

使用耐久性が懸念される。

【0004】 上述したアームレスト部をドアライニング本体と一体に形成する外に、アームレスト部を別体に形成することによりライニング本体に取付け固定することが行なわれている。唯、この車内装用ライニングではアームレスト部をタッピングスクリュー等でライニング本体に締め付け或いは溶着固定するものであるから、側突荷重の緩和対策は図られていない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、薄肉部や切り込み等による脆弱部を設けず、アームレスト部をライニング本体と別体に形成することから側突荷重の緩和対策を図り、そのアームレスト部をライニング本体に容易に組み付け得て確実に固定可能な車内装用ライニングを提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 本発明の請求項1に係る車内装用ライニングにおいては、車内装用ライニングのライニング本体と横断面略C字状に膨出するアームレスト部とを夫々別体に形成し、アームレスト部には開放端より延長させて掛止め爪と、該掛止め爪よりも突出寸法の長い突片とを組に複数組間隔を隔て設け、ライニング本体にはアームレスト部の開放縁側外周形状と相応形状の開放口を板面に設け、その開放口の口縁よりライニング本体の内方に向けて立上りフランジ部を設けると共に、この立上りフランジ部の板面には掛止め爪の止め穴と、該止め穴よりも奥側に位置する突片の受け口部とを組にアームレスト部の掛止め爪、突片と同数組設け、上記掛止め爪を爪先で突出フランジ部の止め穴に係合し、
且つ、突片を先端側でスライド移動可能に支持する受け口部に差し込み、更に、開放端縁をライニング本体の開放口内に位置させてアームレスト部を側突荷重で該開放口より内方に没入可能にライニング本体に係着固定することにより構成されている。

【0007】 本発明の請求項2に係る車内装用ライニングにおいては、突片、受け口部を掛止め爪、止め穴の両側位置に夫々設けることにより構成されている。

【0008】 本発明の請求項3に係る車内装用ライニングにおいては、止め穴を立上りフランジ部の突出方向前後に並べて複数個設けると共に、上記受け口部を少なくとも前側の止め穴よりも奥側に開口位置することにより構成されている。

【0009】

【作用】 本発明の請求項1に係る車内装用ライニングでは、掛止め爪よりも突出寸法の長い突片を掛止め爪に係合位置よりも立上りフランジ部の奥側でスライド移動可能に支持する受け口部に差し込み、その突片と共に掛止め爪でアームレスト部をライニング本体に係着固定するものであるから、アームレスト部が側突荷重を受けると掛止め爪が止め穴より外れて突片が受け口部で内方にス

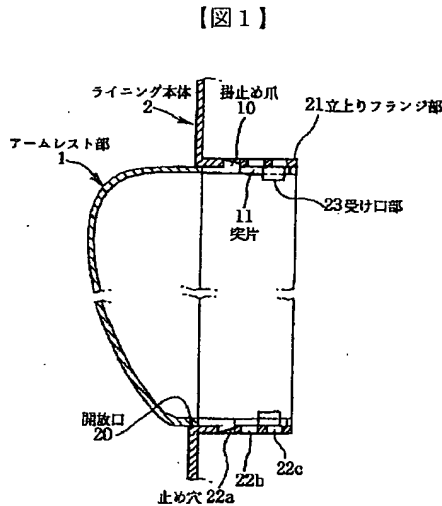
撃を緩和することができる。また、掛止め爪 10 は止め穴 22a から外れると立上りフランジ部 21 の板面に沿ってスライド移動し、次の止め穴 22b, 22c … と順次に係合することから側突荷重をより効果的に緩和することができる。

【0020】

【発明の効果】以上の如く、本発明に係る側突荷重緩和可能な車内装用ライニングに依れば、アームレスト部をライニング本体と別体に形成すると共に、そのアームレスト部を側突荷重でライニング本体の開放口より内方に没入可能に組み付けるから、脆弱部等を設けなくても側突荷重を効果的に緩和することができる。また、そのアームレスト部は掛止め爪並びに突片を立上りフランジ部の止め穴並びに受け口部に係合乃至は差し込むことからライニング本体に容易にしかも確実に取付け固定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明に係る側突荷重緩和可能な車内装用ライニングをアームレスト部の周辺で示す側断面図である。



【図 2】 同車内装用ライニングをアームレスト部とライニング本体とに展開させて部分的に示す平面図である。

【図 3】 同車内装用ライニングを掛止め爪の止め穴に対する係合部周辺で示す側断面図である。

【図 4】 同車内装用ライニングを突片の受け口に対する差込み部周辺で示す側断面図である。

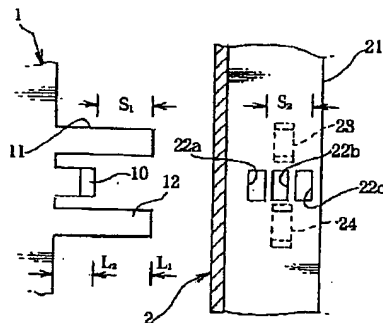
【図 5】 同車内装用ライニングの側突荷重緩和を掛止め爪の作用状態で示す説明図である。

【図 6】 一般例に係る車内装用ライニングを示す斜視図である。

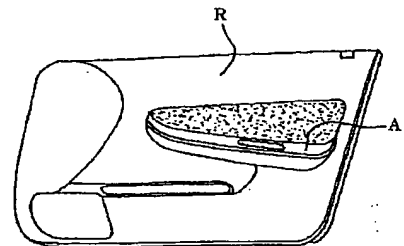
【符号の説明】

1	アームレスト部
10	掛止め爪
11, 12	突片
2	ライニング本体
20	開放口
21	立上りフランジ部
22a, 22b, 22c …	止め穴
23, 24	受け口部

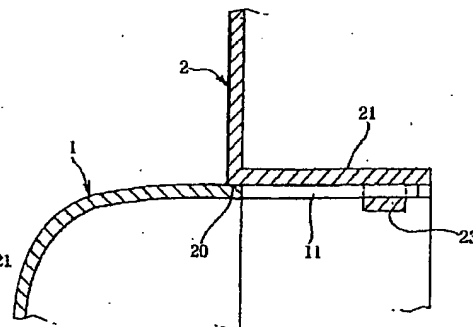
【図 2】



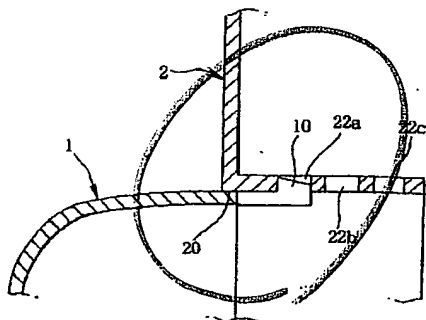
【図 6】



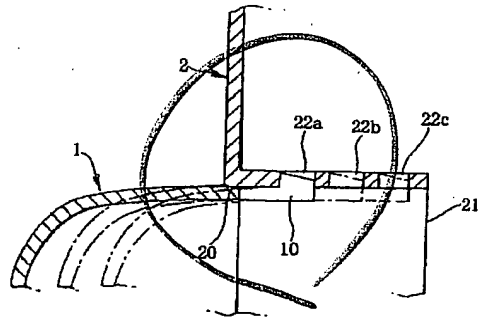
【図 4】



【図 3】



【図 5】



BEST AVAILABLE COPY